

# QUALIFYING NEWS FLASH



Round  
**4**

予選速報

2009 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン 第4戦 2009年6月28日(日) 富士スピードウェイ [www.f-nippon.co.jp](http://www.f-nippon.co.jp)

発行人/編集人:  
株式会社 日本レースプロモーション  
〒102-0047 東京都千代田区九段南2-3-25

Series Partner

**BRIDGESTONE**

**HONDA**

**TOYOTA**

Series Supporter

**NIKKI-ICHI**  
人気酒造

**Take Free**  
ご自由におとりください



## デュバル (NAKAJIMA RACING) が自身初のポール獲得! 2、3位は2年目の石浦宏明 (LeMans)、平手晃平 (ahead IMPUL) が入る

6月27日(土)、全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第4戦の予選が富士スピードウェイで行われ、No.31 ロック・デュバル (NAKAJIMA RACING) がポールポジションを獲得。2、3位には参戦2年目のNo.8 石浦宏明 (Team LeMans)、No.20 平手晃平 (ahead TEAM IMPUL) が入った。

### Q1、Q2は小暮卓史がトップタイム

この日は、朝から夏空が広がり、気温/路面温度は上昇。しかし、ストレートには追い風で、各チームともにギヤレシオの選択にも頭を悩ませていた。まず20分間の予選Q1でも、ユーズド(前戦の使用済み)タイヤの段階で、好調のNo.32 小暮卓史 (NAKAJIMA RACING)、デュバルが1分26秒前半から中盤のタイムを出し、1-2体制を築く。残り時間が5分で各車がコースイン。小暮だけはその1分後にコースへ。そして計測1周目に1分26秒139というタイムでトップを奪う。チェッカーの周に、小暮とわずか100分の2秒差となる自己ベストを



マークし、2番手につけたのはデュバル。以下、午前中から速さを見せていた石浦、平手、前回もてぎで大活躍を見せたNo.10 塚越広大 (HFDP RACING)、No.37 大嶋和也 (PETRONAS TOM'S) と続いた。一方、前回の富士で予選2位だったNo.41 伊沢拓也 (DOCOMO DANDELION) とNo.48 立川祐路 (CERUMO/INGING) がこのセッションで敗退した。

続いて、10分間のQ2となる。セッション残り5分で、各車次々にアタックへと向かう。チェッカー目前にトップタイムをマークしたのは、再び小暮。100分の8秒差でデュバルが2番手。以下、石浦、No.1 松田次生 (LAWSON IMPUL)、平手と続いた。ここでNo.40 リチャード・ライアン (DOCOMO DANDELION)、No.7 国本京佑 (Team Le Mans)、そして現在ランキングトップのNo.2 ブノワ・トレルイエ (LAWSON IMPUL) もQ2敗退となっている。

### NAKAJIMA RACING同士の対決は…

そして、ポールポジションを決定するQ3が開始。残りが5分40秒となり、デュバル、石浦、小暮と続々コースイン。ここで注目されたのはQ1、Q2ともにトップタイムを叩き出している小暮。だが、小暮はウォームアップラップで、デュバル、松田とタイミングが重なり、これでリズムを崩し、アタック1周目に13コーナー立ち上がりでまさかのスピン。コースに復帰した小暮は、翌周も続けてアタックを敢行するが、セクター3でタイヤの初期グリップが落ち始めてタイムを伸ばせず、まさかの6番手に終わった。

これに対して、好調を維持したのはデュバル。路面コンディションが良かったこともあり、デュバルはここで3セッションすべてでのベストタイムとなる1分25秒626をマーク。自身初のポールポジションを決定した。





**Pole Position:** ロイック・デュバル NAKAJIMA RACING / #31

**ポールポジションを獲れたことはハッピーだ**

ようやくポールポジションを獲ることができたね(参戦4年目で初ポール)。だから、すごく嬉しい。今シーズンは、ちょっと遅れを取っていた部分があったから、今日の結果はチームにとっても僕にとっても、もちろんチャンピオンシップを考える上でも良かったし、明日のレースに向けて、一番いいポジションを得ることができたので、いい滑り出しだと思う。Q3では、本当にいいラップを刻むことができた。

残念ながら、Q3で小暮さんが僕のタイムを上回れたかどうかっていうことは分からないけど、いずれにしても僕らのタイムは予選の最初からとても接近していたし、とにかくポールポジションを獲れたことはハッピーだ。明日もいいレースができればいいと思っているよ。



**2nd:** 石浦 宏明 Team LeMans / #8

今回はポールポジションを狙いたと思ってました。前回から、クルマも決まってきました。前回のもてぎの予選では、ちょっと失敗して4位で、今回はポールポジションを狙いたと思って来たんですけど…。Q1、Q2、Q3に関しては、ほとんどクルマを触ることはしませんでした。クルマが路面にマッチしてきているような感じでしたし、エンジニアからも自分を信じて行けと言われていました。今日の2番手という結果は明日に向けて悪くないと思います。

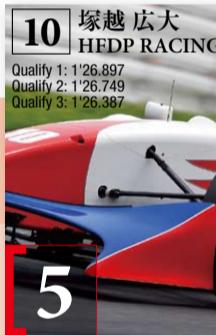
*The turning point of*



**31** L.デュバル  
NAKAJIMA RACING  
Quality 1: 1'26.163  
Quality 2: 1'26.129  
Quality 3: 1'25.626



**3** **20** 平手 晃平  
ahead TEAM IMPUL  
Quality 1: 1'26.631  
Quality 2: 1'26.597  
Quality 3: 1'25.927



**10** 塚越 広大  
HFDP RACING  
Quality 1: 1'26.897  
Quality 2: 1'26.749  
Quality 3: 1'26.387



**4** **1** 松田 次生  
LAWSON TEAM IMPUL  
Quality 1: 1'27.061  
Quality 2: 1'26.359  
Quality 3: 1'25.950



**8** 石浦 宏明  
Team LeMans  
Quality 1: 1'26.495  
Quality 2: 1'26.256  
Quality 3: 1'25.911

**Starting Grid**

**Race start: 14:30**

**タイムスケジュール(決勝日)**

8:15	FCJ 第8戦 決勝(21周)
9:20 >> 9:50	Formula NIPPONフリー走行
10:00 >> 10:15	サーキットサファリ
10:40	CIVIC 決勝(15周)
11:30 >> 12:10	ピットウォーク
12:45	Formula 3 第8戦 決勝(21周)
14:30	Formula NIPPON 第4戦決勝(55周)

**Weather**  
本日の天気予報(富士スピードウェイ)  
Yahoo!天気情報 2009年6月27日 18時30分発表

時間	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00
天気	曇り	曇り	晴れ	曇り	晴れ
℃	23	25	25	22	20

**Pit Assignment**

34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
1/2	20	* 48	* 31/32	* *	40/41	36/37	* *	* *	* *	10	* *	7/8	* *										

◀ First Corner ▶ Pit Road

**Round 4 FUJI Race Preview** - 第4戦決勝レースの見どころ -  
決勝スタートはスリリングに!  
トレルイエ、ロッテラーのロケットスタートはあるか!?

天気予報によると曇りから晴れ。決勝レースはドライコンディションとなりそうだ。そうなるためまず注目されるのは、オーバーテイクボタン。どのドライバーも、今回はチャンスさえあれば使用することになるものと思われる。4月に行われた開幕戦の富士では、No.32 小暮卓史やNo.37 大嶋和也がオーバーテイクシステムを上手く使い、パッシングをしたことは記憶に新しい。2回目の富士だけに、各ドライバーもオーバーテイクシステムをどこで使えばいいかを目

論んでいることだろう。  
また、スタートにも注目だ。他のサーキットに比べて高速コースの富士は、比較的ロング目のギヤ比となる。このため、スタート自体とそこからの加速が非常に難しいのだ。そのため、ここで順位の入れ代わりが起る可能性も大きいにある。特に、久々の2列目グリッドにつけたNo.1 松田次生、後方からの追い上げとなるNo.36 アンドレ・ロッテラーやNo.2 ブノワ・トレルイエは、スタートに定評があるだけに、見逃



せない存在となりそうだ。  
ここまでポールポジション、毎戦勝者が違う混戦フォーミュラ・ニッポン。さあ、この決勝レースでは、何が起るのだろうか!?



3rd: 平手 晃平 ahead TEAM IMPUL / #20

レースで逆転するチャンスもある

NAKAJIMA RACINGの2台がすごく速かったんですが、うちのクルマも良くなりつつあります。かなり仕上がってきたクルマで予選に臨むことができ、結果的に3番手というポジション。ホッとしています。でも、NAKAJIMA RACINGとはまだ差があるので。明日の朝、レースに向けて試したいこともあるのでそれをやって、レースで逆転するチャンスもあると思うので、がんばりたいと思います。



4th: 松田 次生 LAWSON TEAM IMPUL / #1

次につながるために粘らないと

予選はクルマが決まっていたというよりも、一発だけのもの。タイヤのいいところを使って(タイムを)無理やり出したって感じ。今一番の問題はストレートをどうするかってこと。僕自身苦しい状況にいることはよくわかってるし、クルマはまだ決まっていけないけど、次につながるために、粘らないと。明日は苦しいなりにどこまでいけるか、予選のようにガンバって、少しでも前でチェッカーを受けることがマストです。



5th: 塚越 広大 HFDP RACING / #10

決勝に向けての不安要素はありません

セッション毎にセットを少しずつ変えて試しました。クルマの状態は良く、Q3まで残れるという自信はありました。あとは決勝前のフリーで、ガソリン積んだ状態でのセットがいい方向に行っていればいいなあと。今のところ、決勝に向けての不安要素はありません。前回のもてぎは見る皆さんには楽しいレースになったでしょうが、(4位という結果は)自分ではまだ物足りないので、今回はしっかりと結果を出したいですね。

# f the '09 series. Can you anticipate who the winner is?

2009年折り返しの一戦! 今季4人目の勝者が生まれるか、それとも2勝目を掴む者が現れるのか!?



37 大嶋 和也  
PETRONAS TEAM TOM'S

Qualify 1: 1'27.029  
Qualify 2: 1'26.935  
Qualify 3: 1'26.496

7



40 R.ライオン  
DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Qualify 1: 1'27.111  
Qualify 2: 1'27.071  
Qualify 3: -

9



2 B.トレリエ  
LAWSON TEAM IMPUL

Qualify 1: 1'27.330  
Qualify 2: 1'27.310  
Qualify 3: -

11



48 立川 祐路  
CERUMO/INGING

Qualify 1: 1'27.560  
Qualify 2: -  
Qualify 3: -

13



32 小暮 卓史  
NAKAJIMA RACING

Qualify 1: 1'26.139  
Qualify 2: 1'26.049  
Qualify 3: 1'26.438

6



36 A.ロッテラー  
PETRONAS TEAM TOM'S

Qualify 1: 1'27.160  
Qualify 2: 1'26.957  
Qualify 3: 1'26.559

8



7 国本 京佑  
Team LeMans

Qualify 1: 1'27.407  
Qualify 2: 1'27.141  
Qualify 3: -

10



41 伊沢 拓也  
DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Qualify 1: 1'27.490  
Qualify 2: -  
Qualify 3: -

12

予選日: 2009年6月27日(土)  
天候: 晴  
路面: ドライ  
予選通過: 1'32.168 : 107%

ランキングトップの証明、  
Leader's RedのNo.2  
トレリエ



## 決勝前、午前のフリー走行からオーバーテイクランプに注目!

この第4戦富士より、決勝日午前のフリー走行でオーバーテイクシステムを2回、テスト使用できるようになった。これまでオーバーテイクシステムは決勝レース中に5回だけ使えたが、それ以外の走行時間には使えなかった。これが決勝前にテストできれば、そのコースに合わせた使い方を試したり、オーバーテイクシステムを前提にしたギヤやブレーキのセッティングも可能になる。となれば、決勝レースでより有効にオーバーテイクシステムをらせる。

この富士は長いメインストレート、そして高速コーナーが多いだ

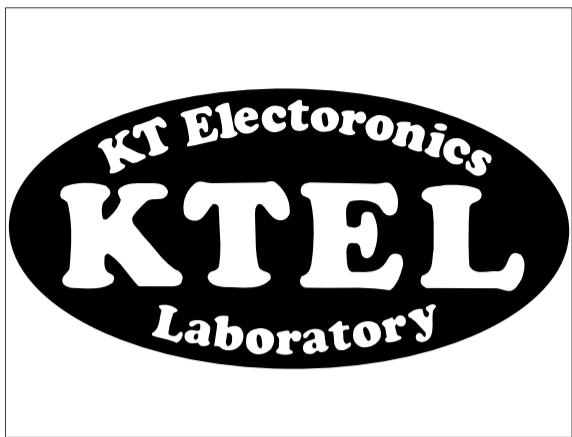
けにオーバーテイクシステムの使い方は勝負のポイントでもある。なお、フリー走行でOTSを使わなくても、決勝の使用回数5回は変わらない。また、予選、決勝日のフリー走行でタイヤの外側に白いラインが入ったものがある。これは前戦に使用したタイヤ(1セットのみ)の再利用だ。予選、決勝では使えないが、フリー走行で力を入れた周回が増え、セッティングの精度向上が期待される。決勝を控え、フリー走行で各選手がどんなトライアルをするか? ぜひ注目してほしい。

Round 4 FUJI TOPIC



株式会社 ニコン  
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

At the heart of the image



# Formula NIPPON '09

モータースポーツのリーディングペーパー

購読のお申し込みは  
TEL 0120-026-999  
FAX 0120-026-993  
http://www.chunichi.co.jp/chuspo/

1ヶ月 2,955円 1部売り 120円

東京中日スポーツ

本紙への広告掲載のお問合せは:  
株式会社 日本レースプロモーション  
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25  
03-3237-0131  
http://www.f-nippon.co.jp

編集制作: SIM co., Ltd. / JRPオフィシャルフォトグラファー: 小林稔、大西靖  
撮影機材: Nikon D3, D3X, NIKKOR Lenses

## Support races qualifying result (top10)

### 2009年全日本フォーミュラ3選手権 第7戦 決勝結果

Po	No	Driver	Machine	Time
1	37	國本 雄資	PETRONAS TOM'S F308	24'07.218
2	1	M.Ericsson	PETRONAS TOM'S F308	-1.540
3	36	井口 卓人	PETRONAS TOM'S F308	-10.030
4	62	嵯峨 宏紀	DENSO ルボレーF308	-16.324
5	2	K.Cozzolino	TODA FIGHTEX	-16.471
6	33	岩崎 祐貴	イワサキインダストリーF308	-25.576
7	7N	山本 尚貴	HFDP RACING	-29.392
8	20N	A.Imperator	ACHIEVEMENT by KCMG	-30.578
9	8N	小林 崇志	HFDP RACING	-42.015
10	23N	佐藤 公哉	NDDP EBBRO	-44.135

周回: 15周 / 天気: 晴れ / コース: ドライ / 出走: 16台 / N: Nクラス

### ホンダエキサイティングカップワンメイクレース2009 ～シビックシリーズ～インターシリーズ～第4戦 予選結果

Po	No	Driver	Machine	Time
1	13	トモアキ	DIXCELカース東海SSR	1'58.137
2	57	後藤 比来空	SEV-MART-ED-CIVIC	1'58.341
3	1	松井 隆幸	ふなごし屋EDカース東海FD2	1'58.764
4	86	水越 真一	NUTECエンドレスCIVIC	1'59.070
5	58	小林 康一	カース東海μTWSシビック小研	1'59.105
6	4	太田 侑弥	BRIDEIDI GulfFD2	1'59.127
7	72	谷口 行規	EURO-WMたにやんシビック	1'59.241
8	12	内山 慎也	HGMセイリンカンCIVIC	1'59.377
9	346	酒井とくしげ	カースしなのATSフコースWVシビック	1'59.959
10	7	大西 隆生	オートボックス オートセブンシビック	2'00.162

天気: 晴れ / コース: ドライ / 走行: 13台

## Information media

### Find your Style J SPORTS

J SPORTSでは今年もFormula NIPPONを全戦放映をします。サーキットに会場できないファンに、レースの臨場感をお届けします。

初回放送 6/28(日) 22:00~24:30 第4戦 決勝 富士スピードウェイ J sports 1  
決勝再放送 6/29(月) 23:45~26:15 第4戦 決勝 富士スピードウェイ J sports 1  
フォーミュラ・ニッポン2009 前半戦ダイジェスト 7/5(日) 7:40~8:00 J sports 1  
○番組ホームページ: [http://www.jsports.co.jp/tv/motor/f\\_nihon/](http://www.jsports.co.jp/tv/motor/f_nihon/)

### 激走!GT

7/5(日)の「激走!GT」は、Formula NIPPON特集!!  
毎週日曜日 17:30~18:00 テレビ東京系6局で好評放送中!  
TX系列6局ネット: テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビ北海道、テレビせとうち、TVQ九州  
○番組ホームページ: <http://www.tv-tokyo.co.jp/gt/>

### F-PROJECT

NTT docomoのフォーミュラ・ニッポン通信実験サイト。車載映像とテレメトリデータを配信します。○番組ホームページ: <http://www.f-project.tv/>



### Motorsports Channel

ケータイでライブタイミングで走行中の全車両の順位、ラップタイム、ピットインの情報をリアルタイムでチェック! レースをより面白くする情報満載です。

## DVD

### 2008 Formula NIPPON 総集編 絶賛発売中!

2008年の熱戦を振り返る。松田、小暮のオンボード映像、星野監督のインタビューも収録。¥3,990(税込)  
全国のローソン、Loppi、J SPORTSオンラインショップ (<http://shop.jsports.co.jp/>)、その他取扱店でお買い求めください。



### 2009年 全日本選手権 フォーミュラ・ニッポン第5戦 鈴鹿サーキット

同日開催 2009年全日本フォーミュラ3選手権 第9戦 第10戦  
2009年フォーミュラ・ニッポン シリーズ 第10戦  
Netx Cup Vitz Race 2009 関西シリーズ 第3戦

■前売観戦券(2日間有効) 大人5,500円 / 中・高校生1,600円  
■バックスパス(2日間有効 観戦券別) 6,000円 / 小学生1,500円  
■ピットウォーク券: 予選決勝各日 2,000円  
■当日券: 決勝日 6,500円 / 予選日 1,600円(ゆうえんち入園料)

■オーガナイザー: 名古屋レーシング(NRC) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット  
■公認 中国自動車連盟(CA) / 社団法人日本自動車連盟(JAF)  
■後援 東京ガス株式会社 / 中国自動車連盟 / 中国新聞社  
■認定 日本レースプロモーション(JRP) / 日本フォーミュラ選手権協会(FNHA)

7/11 SAT  
12/12 SUN



### FCJ第7戦決勝レポート 三浦和樹が嬉しいFCJ初優勝

ポールシッターのNo.5 銘苺翼は好スタートを切るが、反則スタートのペナルティで上位から脱落。以後、No.1 中山雄一とNo.17 三浦和樹によるトップ争いとなる。このバトルを制した三浦がそのまま逃げ切って初優勝を飾った。一方、予選6番手のNo.4 佐々木大樹は追いついて2位に。一時、4番手まで後退した中山は、巻き返して3位となった。



### FCJ第7戦決勝結果 Top10

Po	No	Driver	Machine	Time/Gap
1	17	三浦 和樹	HFDP/SRS スカラシップ	26'18.164
2	4	佐々木 大樹	NDDP オートボックスFCJ	-2.081
3	1	中山 雄一	FTRS RAJAS FCJ	-3.569
4	12	松本 武士	NDDP プロバイル FCJ	-5.339
5	18	大谷 涼	タカギプランニングFTRS	-6.150
6	8	大谷 飛雄	FTRSスカラシップFCJ	-9.944
7	9	野尻 智紀	HFDP/SRS-F/ARTA	-11.499
8	16	蒲生 尚弥	FTRS FCJ	-11.788
9	15	服部 竜也	NDDP FCJ	-20.048
10	2	石井 一也	タカギプランニングFTRS	-20.948

周回: 15周 / 天気: 晴れ / コース: ドライ / 出走: 18台

TOYOTA NISSAN HONDA



# Flash of Revolution

革新の閃光 - "FN09" Debut

レーシングドライバーのプライド。それは誰よりも速いこと。オーバーテイクの意志を示す光が煌めくとき。マシンは閃光となってストレートを駆け抜ける。2009年、さらに過激に進化したフォーミュラ・ニッポン。男の戦いがそこにある。

Formula NIPPON  
The Real Racing Sport: Formula NIPPON